※施工される方へお願い：必ず本書を御施主様へお渡しください。

2025.01

MONOCK

ストックルーム収納［モノック］

取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行った場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⃠	**「してはいけない」を示します。**
❗	**「必ず行なっていただくこと」を示します。**

⚠注意

● 製品に乗らない。

棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。

● 耐荷重の目安を必ず守る。

棚板に過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起こり、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。

（下記、「耐荷重の目安値」をご参照ください。）

お手入れ

● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● 汚れがひどい場合

木質	中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。
ステンレス	市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。

※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。

● 換気をする。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

ご使用上のお願い

● 製品に直接水をかけない。

本製品に直接水をかけないようにしてください。
表面化粧のはがれや反りの原因となります。

● 粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。

表面化粧がはがれるおそれがあります。

● 油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

● 暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。
反り・割れ・変色の原因になります。

ステンレス素材について（対象パーツ：網棚）

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷がつきやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃の際には **お手入れ** の内容を守ってご使用ください。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。
- 湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。こまめにお手入れしてください。

濃色柄について

- 濃色柄は、白い擦り跡のようなものが目立つ可能性がありますが、傷ではありません。 **お手入れ** の内容を守って拭くことで簡単に取り除くことができます。

耐荷重の目安値

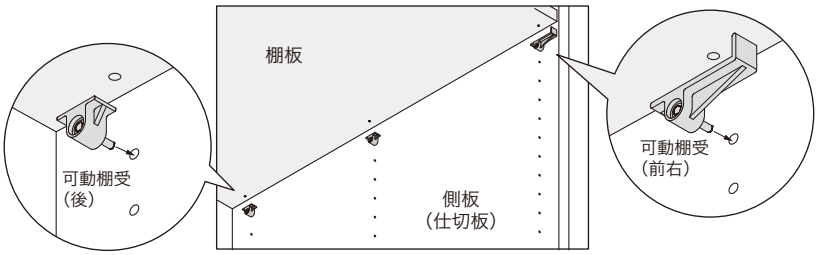
下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

パーツ	間口	耐荷範囲
天板	900mm以内	**30kg**
棚板（可動・固定兼用）	900mm以内	**20kg**
連結棚板	—	**3kg**
網棚（可動・固定兼用）	450・600・800mm	**20kg**
重量用棚板	900mm以内	**80kg**
L型棚板	800mm以内	**20kg**
4連フック	—	**9kg** フック1箇所あたり3kg

棚板（可動の移動・取り付け）

[棚板の取り外し]

棚板を上に持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受金具を取り外してください。



[棚板の取り付け]

[棚板の取り外し]の逆の手順で行なってください。

ご注意

- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
  取り付けの際は可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込んでください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。